



ぐんま集排水だより



木戸地区 处理施設全景

処理施設を訪ねて

館林市 木戸地区

木戸地区について
教えて下さい。

事業への取り組みについて
教えて下さい。

木戸地区は農業集落排水事業として平成12年度に採択を受け、計画戸数157戸、計画人口630人、総事業費約7億9百万円をもつて平成17年に事業が完了しました。処理方式は「連續流入間欠ばつ氣方式」で、污水の流入を連続的に行うと共にばつ氣槽のばつ気を間欠的に行う操作で、嫌気・好気状態を繰り返すことにより有機物と窒素の除去を効果的に行う方式であります。

館林市は県の東南端に位置し、東には館林インターがあり、前橋市へは約4キロと遠いが、東京まで電車で約1時間の通勤圏として、地理的に恵まれています。本市は城下町として古くから発達し、食品・繊維工業が盛んでした。城沿岸の「県立つつじヶ岡公園」、茂林寺の「分福茶釜」、県内で唯一白鳥の訪れる多々良沼公園など、年間約160万人の観光客が訪れています。木戸地区は、市役所より北西約4キロに位置し、一級河川矢場川の南岸に形成され、中央を主要地方道足利・館林線がはしり、周辺はほ場整備がほぼ整い、基幹作物である水稻麦、野菜の栽培も盛んに行われて土地の有効利用が図られています。

今後の課題等について
お聞かせ下さい。

市の汚水処理計画は、公共下水道、合併浄化槽、農業集落排水事業、コミュニティープラントの四つの事業からなっており、農業集落排水事業下早川田地区は平成12年4月に、木戸地区は平成17年4月に供用開始となりました。

今後は、公共下水道と同様に広報啓発活動を行い、供用率の向上に努めてまいります。また、適切な管理を行っていき、河川等の水質汚濁を防止し、次世代の子供達に、快適な住環境を保持していくことが、責任ではないかと思っております。



県立つつじヶ岡公園

県民一人一人の理解と協力が群馬の水環境を守ります！

群馬県県土整備局下水環境課

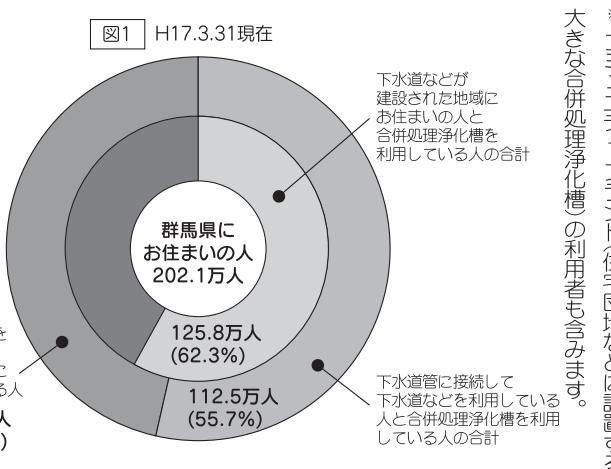
1 汚れた水は…

私たちは毎日の生活の中でたくさんの水を使っています。使った水のほとんどは汚れていたり、それらそのまま側溝や農業用水路などに流れています。川の悪臭や害虫が発生して生活環境を悪くしまる。また、川や湖の水を飲み水として利用することができなくなったり、お魚などが生きていかなくなったり、稻穀などの農作物に被害が出たり、私たちや動植物に大きな影響を及ぼします。

これを防ぐために、汚れた水は農業集落排水や下水道などでもあります。川などに戻すことが必要です。

2 群馬県における汚水処理の普及状況は…

ご存知のとおり群馬県は、多くのダムをかえた水源県です。しかし、図一のとおり群馬県202.1万人の内、農業集落排水や下水道などが建設された地域にお住まいの人と合併処理浄化槽を利用している人の合計は125.8万人(62.3%)で、その割合(=人口普及率)は62.3%です。全国平均は79.4%で、関東1都6県の中では一番低く全国で36位になつてあり、水源県としては決して好ましい状況ではありません。



しかも、この125.8万人の人すべてが下水道管に接続して農業集落排水や下水道を利用しているわけではありません。家庭のさまざま事情により、下水道管に接続していただけない家庭もあり、実際に農業集落排水や下水道、合併処理浄化槽などを利用している人は112.5万人で、県民全体の55.7%に過ぎません。

残りの89.6万人、44.3%の県民は、汚れた水をそのまま側溝や農業用水路などに流しています。

このことになつます。

県や市町村は、すべての県民が下水道などで汚水処理を開始した日から3年以内に戻せるよう、農業集落排水や下水道の建設を進めてくるほか、合併処理浄化槽の設置費に対する補助を行っています。

3 県民の皆さまへのお願い

農業集落排水や下水道の建設には多くの税金が使われています。せっかく建設しても利用していただけないと、いつまでたっても汚れた水は側溝や農業用水路などに流されてしまうのです。まだ、み取り式トイレや、水洗トイレでも単独処理浄化槽の家庭では、生活雑排水が汚れたまま側溝や農業用水路などに流されています。

群馬県のみならず、地球の水環境を守るために、一人一人がいのじしを認識し、行動していただきたいことが必要です。皆さんのが理解と協力をお願いします。

- ① 農業集落排水や下水道の建設が終わっている地域にお住いの家庭は、できるだけ早く下水道管に接続しましょう。
- ② 農業集落排水や下水道の建設が予定されていない地域にお住いで、単独処理浄化槽の家庭は、合併処理浄化槽に換えましょう。

農業集落排水や下水道、合併処理浄化槽をお使いでない家庭でも、食べ残いや調理ごと、油などは流さないようにして、それでも単独処理浄化槽の家庭では、生活雑排水が汚れたまま側溝や農業用水路などに流されています。

農業集落排水は、今のどこの法律による義務づけられています。条例によれば罰則規定もあります。

下水道への接続は、下水道法により処理場での汚水処理を開始した日から3年以内に行なうことが義務づけられており、今までは罰則規定もありません。

4 市町村による住民に対する助成制度

市町村によつては、下水道管へ接続するために行なう水洗トイレの改造費・宅地内における下水道管の工事費に対する資金貸付や補助金などの制度があります。

また、農業集落排水や下水道の建設が予定されていない地域では、み取り式トイレを水洗トイレに改造する費用や、単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に換える費用に対する助成制度もあります。

条件も含めた制度の内容は市町村により異なつますので、詳しく述べる住まいの市町村にも問い合わせください。

「豊かな自然を残すために」

桐生市新里町在住
今泉 勇作

新里町は、赤城南麓に位置し、赤城の外輪山の一部をなす最北部から、なだらかな起伏と平坦な大間々扇状地の広がる南部まで自然に恵まれた農業振興地域です。

しかし、生活水準の向上とともに各家庭からくる生活排水の増加により排水路が整備されていなかつたため宅地内浸透および道路側溝や農業用水路にながしていたのが現状でした。そのため、流末である近くを流れる鏑木川も昔と違い、川のところどころで泡があつたり、臭氣が気になつたりしていました。

そして、この地域でも平成3年度より農業集落排水事業が着手され平成6年度から供用開始となり、90%近い世帯が集落排水に接続していると聞いています。

地域住民の環境への関心

の高さだと思います。

そのため、生活排水等が処理場に集まり、

きれいにしてから放流

されるため、ここ数年で鏑木川の泡が無くなつたり、



以前より環境が改善されたと実感します。

でも、豊かな自然や清流をいつまでも残すためには住民の意識・積極的な協力により出来るものではないでしょうか。

「螢の乱舞を夢みて」

館林市木戸町在住
田部井 好子

数年前の事でした。

地元生まれの主人が目を輝かせて、幼い頃に藻の生い茂った川で友と楽しく遊んだ思い出この地域の川が、どんなに澄み美しく流れていただなどを話してくれました。

川を汚す一番の原因は、生活排水と知った時から、少しでも水を綺麗にして流そうと工夫し心掛けてきましたがこれからも続けたいと思

います。

さて、今年3月工事が完了し、4月1日より待ちに待つ処理場の運転が開始されました。お陰

様で我が家でも5月初めには、

「水、よみがえれ！キャンペーン」に行ってみよう！

県下水環境課では、農業集落排水・下水道・浄化槽の役割と必要性を広く県民にPRし、農業集落排水・下水道への接続と合併処理浄化槽への転換を呼びかけるため、キャンペーンを行います。ぜひお出かけください。

- | | | |
|------|--|-------|
| 1 日時 | 平成18年3月11日(土) 10:00~16:00 | ※入場無料 |
| 2 場所 | 群馬県公社総合ビル(前橋市大渡町1-10-7) | |
| 3 内容 | ①エフエム群馬公開生放送(作家の俵萌子さんがゲスト出演)
②「超速戦士G-FIVE」キャラクターショー
③農業集落排水・下水道・浄化槽に関する各種展示や資料配付など | |

も解放され、安心で実際に快適な毎日感謝して過ごしております。また、それ以上に心地良いのは、清水が綺麗になつて流れているという事です。娘が幼い頃に「私は本物の螢を見たことがない」と言っていた言葉を今でも忘れる事が出来ません。

これからも、誰もが望む自然環境を守り育んでいくには、それを守ろうとする心構えと、日々の努力が大切だと信じています。これからも、このような処理施設が数多く増え続けてほしいものと願っています。

群馬県農業集落排水事業連絡協議会 役員紹介



監事/ 大橋 博
《新任》館林市



監事/ 茂木 福太郎
《新任》前橋市



副会長/ 高山 仁一
《再選》富士見村



副会長/ 森川 忠俊
《再選》高崎市



副会長/ 芝崎 完司
《再選》沼田市



会長/ 金井 郁治
《再選》子持村

平成17年6月の通常総会において役員が選任されました。(任期2年)

平成16年 5月・監事会及び監査

・役員会及び代表幹事会

6月・第14回通常総会並びに研修会(前橋市内)

6~10月・農業集落排水に関する絵画コンクールの実施

10月・農業集落排水に関する絵画コンクール表彰式(群馬県庁昭和庁舎正庁の間)

11月・改良普及員及び農業集落排水事業担当者研修会(東京都)

・現地研修会(山形県立川町「立川CSセンター」等)

平成17年 2月・全国農業集落排水事業推進協議会第15回通常総会(東京都)

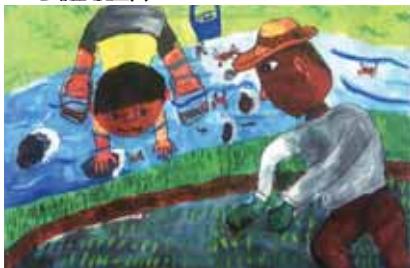
3月・機関紙「ぐんま集排だより」(9号)40,000部発行

平成16年度 事業報告

平成16年4月
~平成17年3月

絵画コンクール作品紹介

上毛新聞社賞 題名 おじいちゃんは田うえ、ぼくは川遊び



子持村立
長尾小学校
4年生
佐藤 崇久くん

(テーマ)おじいちゃんは、田植えのいねのない所に、あまつたいねをいれていて、ぼくは、となりの川でかにややこをつかまえているところです。

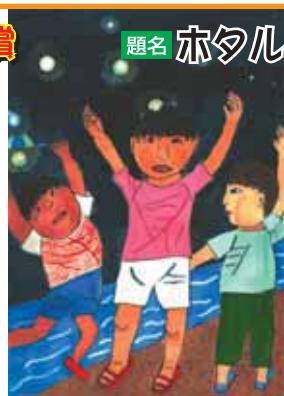
最優秀賞 題名 みんなで田植え



伊勢崎市立
三郷小学校
6年生
服部 奈々江さん

協議会長賞

題名 赤タルを見に川へ



子持村立
長尾小学校
5年生
佐藤 裕美子さん

(テーマ)
赤タルを見つけて、手でどうぞうりました。
川のまわり、川の上などにボタルがたくさんいました。

連合会長賞 題名 おばあちゃんのはだけ



館林市立
第四小学校
2年生
笠原 彩加さん

絵画コンクールについて

農村地域の環境保全と農業集落排水事業の啓発・普及を目的に、21世紀を担う子供達の視点から環境保全へのメッセージとして、絵画コンクールを開催したところ、6市町村 14小学校から243作品もの応募がありました。

審査については、専門知識者による事前審査のあと、本協議会役員、代表幹事、群馬県、土地改良連合会の関係者が審査し、最優秀賞(群馬県知事賞)、上毛新聞社賞、連合会長賞(群馬県土地改良事業団体連合会長)、協議会長賞(群馬県農業集落排水事業連絡協議会長)と優秀賞6作品、佳作10作品を決定しました。



絵画コンクール表彰式開催

絵画コンクールの表彰式が、平成17年10月15日(土)に群馬県庁昭和庁舎の正庁の間で開催されました。

表彰式には、受賞者の父兄や先生、行政の関係者をはじめ多数の来賓を迎えて盛大に開催されました。



家庭での心がけ

農業集落排水処理施設は自然ときれいな水、快適な生活環境をつくるみんなの財産です。大切に使いましょう。また、家庭でのちょっとした心がけで、きれいな川を守る手助けができます。

- ◆洗剤を利用するときは無リン洗剤を使う
- ◆台所の調理くず・てんぷら油等は流さないようにする
- ◆水洗トイレには溶ける紙を使用する
- ◆風呂場や洗面所の排水口に髪の毛、糸くず等を流さない

